

情勢報告

青色申告と栽培実態をリンクさせた農業経営分析に向けて
～施設ナス栽培ほ場の実態調査～



栽培環境、作業労力等を聞き取る
専門普及指導員

振興センターは、青色申告データと栽培実態をリンクさせた農業経営分析に向けて、JA土佐あき安芸市青色申告会に参加している施設ナス生産者40人を対象にH26年12月中旬～1月上旬、現地ほ場実態調査を行いました。その結果、売上の大小は、労力、ハウス内の明るさ、栽培初期の樹づくり、温度管理、病害虫の発生状況に大きく影響されることが明らかになりました。

今後は、これらのデータをもとに所得との相関や個々の生産者における課題の抽出を行い、経営改善支援に取り組みます。

集落営農組織の先進的な活動事例を学ぶ



「組織の経営の特徴は？」

1月8日、振興センター主催で管内の集落営農組織の代表者、組織設立を検討中の集落リーダー及び関係機関など20人が参加し、香川県の先進的な2つの集落営農組織の活動事例を現地で研修しました。

「共同利用機械の導入方法は？」「協業栽培の労働配分は？」などの質問が出され、参加者は赤字にならないための協業栽培等のシミュレーションの重要性や組織設立の目的は集落内の農地の維持管理であることを再確認しました。

振興センターは、今後も研修会などを通して新たな集落営農組織の設立や組織の活動強化を支援していきます。

産地間で情報交換～米ナス生産者交流会～



例年以上の参加者が集まった交流会

1月13日、県内生産者25人（管内6人）と関係者34人が参加して安芸市内で「米ナス生産者交流会」が開催され、現地検討会と講演会を行いました。現地検討会では温度管理や病害対策について活発に情報交換しました。講演会では専門技術員から「植生管理による害虫防除」と「米ナスほ場での炭酸ガス濃度実態」等の講演があり、質疑応答や産地情勢報告を通じて産地間で活発な交流が行われました。

今後も振興センターでは県内産地の情報収集・共有を行い、地域のまとまりづくりに取り組み、活気ある米ナス産地を目指します。

黒砂糖の製造販売が始まる！～集落保全営農組織平・花田～



美味しい黒砂糖を作るぞ！！

1月13日、奈半利町集落保全営農組織平・花田は、組織で栽培しているサトウキビを収穫し黒砂糖づくりを行いました。

振興センターが仲立ちし、製造設備、技術のある芸西村伝承館の協力を得て黒砂糖を約100個(1kg/個)作りました。製造工程、販売形態、原価計算等まだまだ課題はありますが、できあがった黒砂糖を目の前にし「自分たちの加工場が欲しい」と、意欲が高まっています。

振興センターは、今後も収益性を考えながら組織で行う黒砂糖づくりとその販売を支援していきます。

ピーマン品目別現地検討会の開催



炭酸ガス施用装置に関心を示す生産者

1月15日にピーマン品目別現地検討会を行い、ピーマン生産者、県関係者73人が参加しました。現地研修として、炭酸ガス施用及びエコキュート（自然冷媒ヒートポンプ給湯機）の導入ほ場と重油加温機のダクトを利用した炭酸ガス施用ほ場の2か所を巡回しました。

振興センターは日射量に応じた灌水量、炭酸ガス施用、温度管理による樹勢、収量の推移等の情報提供を行い、生産者の環境制御技術や生育診断に対する関心が高まりました。

今後も振興センターは関係機関と連携しながら環境制御技術の普及に取り組みます。

羽根集出荷場営農相談日の開催



「新しい情報があるかね」

1月16日、羽根集出荷場で、振興センターが営農相談日を開催しました。営農指導員と協力して出荷にきた生産者に室戸普及所だよりを配布し、農薬の短期暴露評価や炭酸ガス施用実証試験の情報提供を行いました。生産者からは「最近花も実も少ない」「炭酸ガス施用で厳寒期の収量があがるならやってみる価値がある」といった声も聞かれました。

今後も振興センターは定期的に配布資料を作成し、営農相談日を通じて生産者にタイムリーな情報提供を行い、産地づくりにつなげていきます。

JA土佐あきブルースター部会の現地検討会



花飛びはサイドや谷間に多い

1月16日、ブルースター部会の現地検討会に生産者10人、市場等関係者6人が参加しました。花飛び症状がどのほ場でも出ており、部会員の注目を集めました。

振興センターはほ場巡回時に花飛び症対策や切り前について周知しました。また、農業技術センターの試験内容の紹介、要望課題の募集を行いました。

今後も振興センターは関係機関と連携し高品質栽培への取り組みを支援します。

植物の状態を把握しましょう！「第7回農業基礎研修講座」の開催



生育診断について説明する
専門普及指導員

1月21日、振興センターは第7回「農業基礎研修講座」を開催しました。新規就農者等29人が対象で、うち22人が参加し、「ナスの生育診断と植物の操作」をテーマとして、振興センターが安芸集出荷場と同出荷場管内のナス2ほ場において、実際の生育調査方法や植物を理想の状態にする地上部及び地下部の管理方法について説明しました。

参加者からは「調査株の選び方」や「生育調査結果に基づいた今後の管理」などについて熱心な質問がありました。

今年度の本講座は2月で最終となりますが、引き続き、個別巡回等で受講した新規就農者を支援します。